

## 大阪ハッカーズクラブメンバーに対するヒアリング

趣旨、目的 大阪イノベーションハブの活用目的や取り組みに対する意見、要望

実施期間 平成26年6月～9月

### プレイヤー 20名にヒアリング（9月末現在、278名）

情報処理・ネット関連：32%、コンサル等：14%、家電・電子機器等製造業10%、  
その他：教育、健康・医療・福祉、デザイン、通信、金融、士業、大学、学生など

・ヒアリング対象：起業家（志望）14名、コミュニティ主催者 6名

#### （1）OIHに来る目的

- ・共催イベントの企画協力、実施
- ・イベント登壇
- ・情報収集（起業準備中の場合等）
- ・コミュニティ形成活動
- ・パートナー探し（特にエンジニア等）
- ・支援者との出会いのため
- ・資金を求めて（弱いが）

#### （2）OIHに備えてほしい機能

- ・イベントだけでなくふらっと来て集える、外から入りやすい雰囲気
- ・短時間の打合せや作業ができる場所
- ・様々なネットワークを持つスタッフの存在
- ・試作品を作れる会社などの紹介サービス
- ・SNSのチェックイン機能（来所者がリアルタイムでわかる）、Wi-Fi、ホワイトボード
- ・OHCメンバーどうしや起業家どうし（GVHにもない）がカジュアルに話し合える場
- ・成功し、挫折も知っている起業家と交流できる場
- ・他企業や自治体等とつながれる場（プロモーションのため）
- ・ハブ機能という意味において、全国の地域イノベーション拠点とのネットワークづくり（OIHでの取り組みを他の地域で展開する等）
- ・WEBサイト等を通じた広告、宣伝
- ・シリコンバレー等海外のハード系スタートアップやコミュニティと繋がる場

#### （3）OIHに改善してほしいこと

- ・イベント開催の手続きが面倒でやりにくいので、もっと簡素化してほしい。
- ・違った切り口で多様性を感じさせるイベント、定期的な勉強会を企画してほしい。
- ・コミュニティのさらなる活性化（特にIT人材）を望む。

## パートナー 16社にヒアリング（9月末現在、102名）

（情報処理・ネット関連：23%、大学・公的研究機関：15%、工業：13%、金融12%、  
その他：製造、通信、メディア、広告代理店、コンサル、経済団体、業界団体等）

・ヒアリング対象：IT会社5社、メーカー2社、メディア2社、人材派遣業1社、大学2

### （1）OIHに来る目的

- ・行政との協業
- ・スタートアップ支援のためのイベント実施
- ・新製品やサービスの開発に向けた外部のアイデア利用、外部との連携
- ・ハッカソン等のイベントを通じたエンジニアとの出会い（リクルートを含む）
- ・新製品やサービスのリリースに対するフィードバック
- ・ハードウェア開発
- ・新規顧客開発（マーケティング）
- ・社の認知度、ブランド力の向上
- ・若手エンジニア等のスキルアップやマインド醸成



◎新規事業開発（ニーズモニタリング、プロモーション）

- 新規顧客開拓、アライアンス
- リクルート先の探索
- 投資先の探索

しかしながら、本来のオープンイノベーションとしての企業の巻き込みは弱い。

### （2）OIHに備えてほしい機能

- ・コワーキングも含めた日常的な交流やちょっとした作業ができる場
- ・エンジニアとデザイナーの交流の場
- ・シリコンバレーのハードウェアスタートアップとの交流の場
- ・コミュニティ創出機能の強化
- ・OHCのパートナー同士の交流機会
- ・ハッカソンで出たアイデアやプロトタイプをビジネスにしていくための仕掛け
- ・週一回等、日を決めてイノベーションハブに滞在してメンタリング等を行う
- ・パートナー企業同士やスタートアップとつなげる機能を強化していく必要がある

### （3）OIHに改善してほしいこと

- ・定期的な軽いトークタイム、継続的な勉強会を企画してほしい。